

www.r-toolbox.jp

toolbox

オーダーミドルキッチン

目次

安全上のご注意	1
各部の名称 / 付属部品	2
取り付け前の確認	3
キャビネットの取り付け前加工	4
基本取り付け要領 (ベースキャビネットの取り付け前加工)	5
基本取り付け要領	6
開き扉の取り付け・取り外し・調整	7
取り付け後の確認【清掃・点検】	8

安全のために必ずお守りください

取り付け前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に取り付け、あなたや他の人々への被害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。



警告

警告を無視した取り扱いをすると、
死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。



注意

注意を無視した取り扱いをすると、
物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。



気を付けなければ
いけない注意事項



やってはいけない
注意事項



しなければいけない
強制事項

株式会社 TOOLBOX










URL www.r-toolbox.jp
E-mail contact@r-toolbox.jp

安全上のご注意





設置前にご確認ください

商品を開梱して、外観に損傷がないことを確認してください。
設置後の損傷は保証対象外となります。

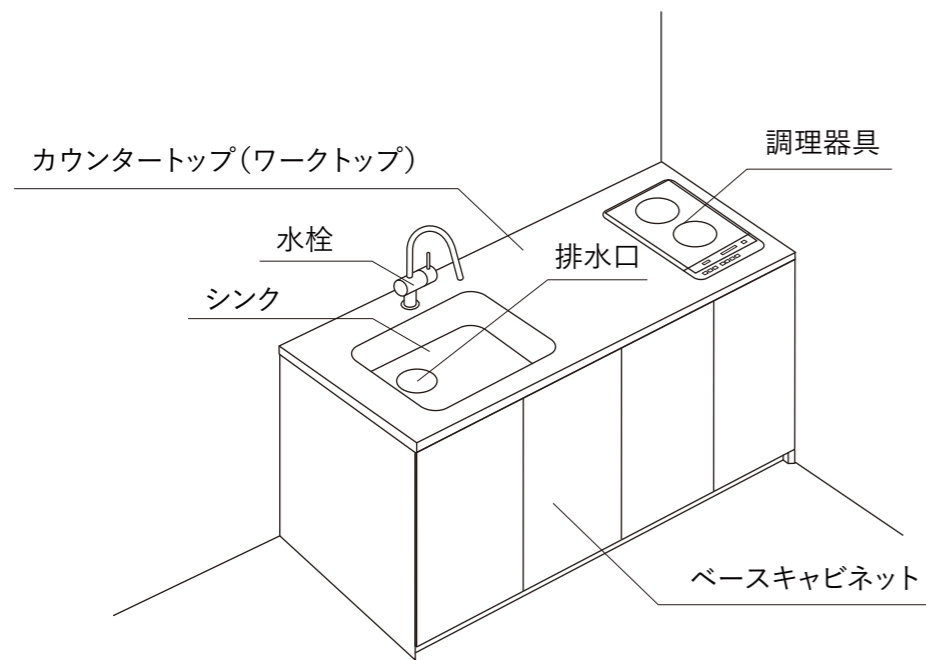
警告

-  **分解・改造はしない。**
破損してケガをする恐れがあります。
-  **水道・ガス・電気工事は、関連する法令・規定に従い必ず「有資格者」が行ってください。**
誤った接続や固定方法を行うと、ガス漏れ・漏水・発煙・火災・漏電の原因となります。
-  **本書指定位置（P.3）に取付用木下地（厚さ 30mm 以上、幅 90mm 以上または 18mm 以上の合板）が取り付けられていることを確認してください。**
木下地がしっかりと取り付けられていないと落下して、ケガをする恐れがあります。
-  **必ず、商品に同梱している専用の取付部品・ネジ類を使用してください。**
落下してケガをする恐れがあります。
-  **ネジ類で固定する際は、締めすぎて空回りしたり、ネジの十字溝を破損して、回しにくくならないようにして下さい。**
固定が不十分になり、落下してケガをする恐れがあります。
-  **キャビネット・ワークトップの上に乗ったり、もたれかかったり重量物を載せたりしないでください。**
落下してケガをする恐れがあります。
-  **シンクに排水金具を取り付ける際等、金属製品の切断面に手をかけるときは必ず保護手袋をしてください。**
金属製品の切断面で、ケガをする恐れがあります。
-  **移動等の際は 2 人以上でしっかりと持ち上げてください。**
落下してケガをする恐れがあります。
※PP バンドを持って運ぶと商品の重量でバンドが切れてしまう恐れがあるので十分に気をつけてください。
-  **設置仕上げに使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他薬品類については、容器などにある注意表示に従い、正しく使用してください。**
人体に影響が出たり、使用部材の損傷や老化の原因になります。

注意

-  **取り付け完了後は、扉、ガタつき、ヒンジのゆるみがないことを確認してください。**
調整後はゆるめたすべての扉の指定のネジを硬く締め付けてください。
※締め付けが不十分な場合は、使用中に扉が落下してケガをする恐れがあります。
-  **棚受けダボは側板に完全に差し込み、棚板をセットし確実に棚板が固定されていることを確認してください。**
棚板への差し込みが不十分な場合、棚板が落下してケガをする恐れがあります。
-  **ビルトイン機器（水栓金具・排水金具・レンジフード・調理器具・その他の機器）については、それぞれに付属の説明書・注意表示をご覧いただき、正しく取り付けてください。**
誤った取り付けを行うと、思わぬ事故や故障の原因になる恐れがあります。
-  **排水金具の接続は、各部品を確実に締め付けてください。**
水漏れし、不快なおい・カビの発生・腐食の原因になります。

各部の名称



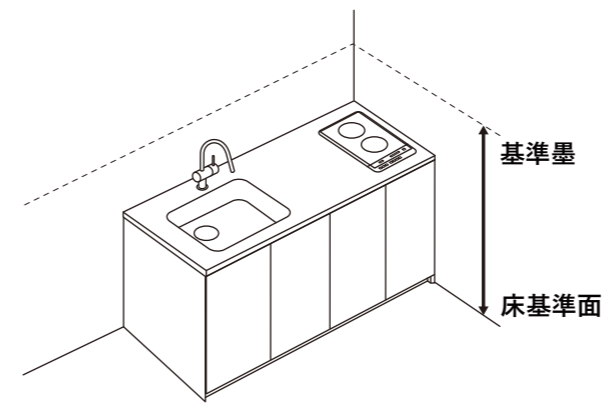
付属部品

化粧キャップ	ワッシャー・キャップ(黒) ※ ブラック/ラワン/シナ/バーチの場合		各40
	ワッシャー・キャップ(白) ※ ホワイトの場合		
キャビネット連結ビス	コースレッド L25		6
壁固定ビス	コースレッド L51		12
	コースレッド L65 ※必要に応じて		12
ワークトップ(シンク下)固定ビス	トラス φ4×10		8

取り付け前の確認

床レベルの計測

基準墨を出して、床レベルの最も高いところを床基準とします。

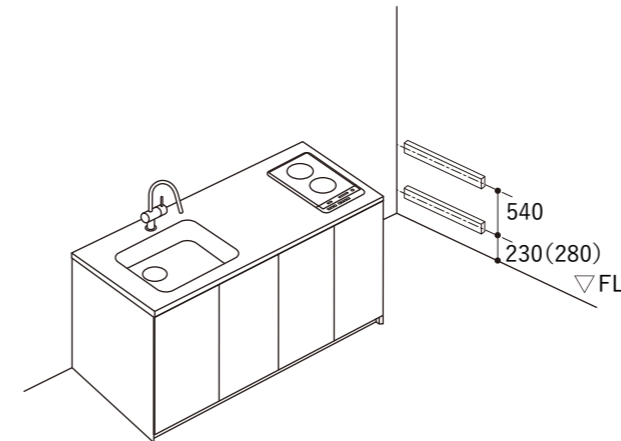


警告

❗ 取付用木下地（厚さ 30mm 以上、幅 90mm 以上または 18mm 以上の合板）が、指定通りに施工されていることを確認してから取り付けください。
取付用木下地がしっかり取り付けられていないと、落下してケガをする恐れがあります。

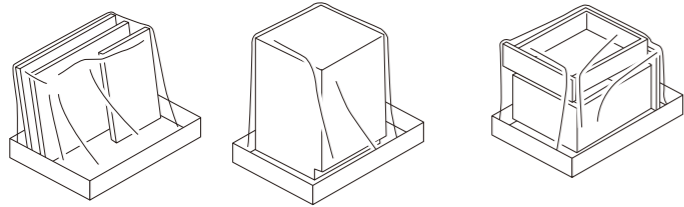
下地位置の確認・各基準線の墨だし

床基準より、下記の位置に取付用木下地がしっかり取り付けられていることを確認してください。
また、取り付け時の基準となる墨をだしてください。



キャビネットの取り付け前加工

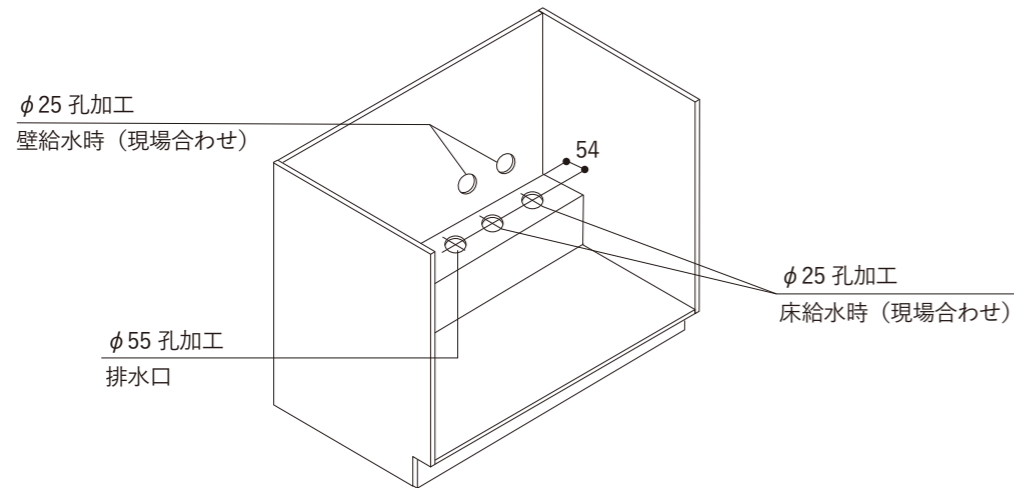
■ 基本準備



⚠ 注意

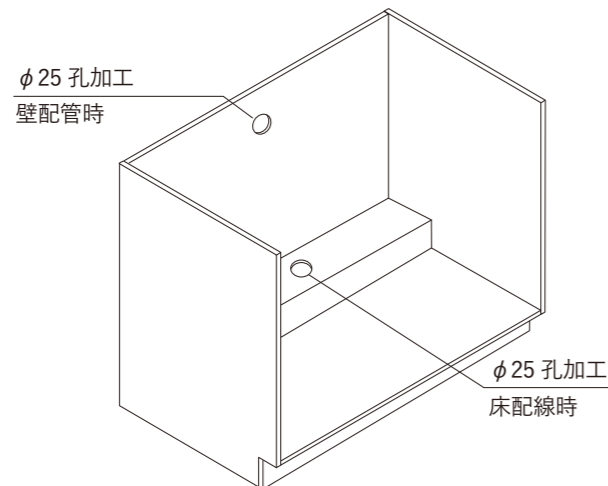
❗ 扉・引出しを外してください。
扉および引出しを傷つけないように、開梱後に取り外してください。
養生方法は、左記の要領で段ボールを必ず敷いて保管してください。

■ シンク用キャビネットの給排水孔加工



■ 調理機器用キャビネットのガス配管・IH 電源コード用孔加工

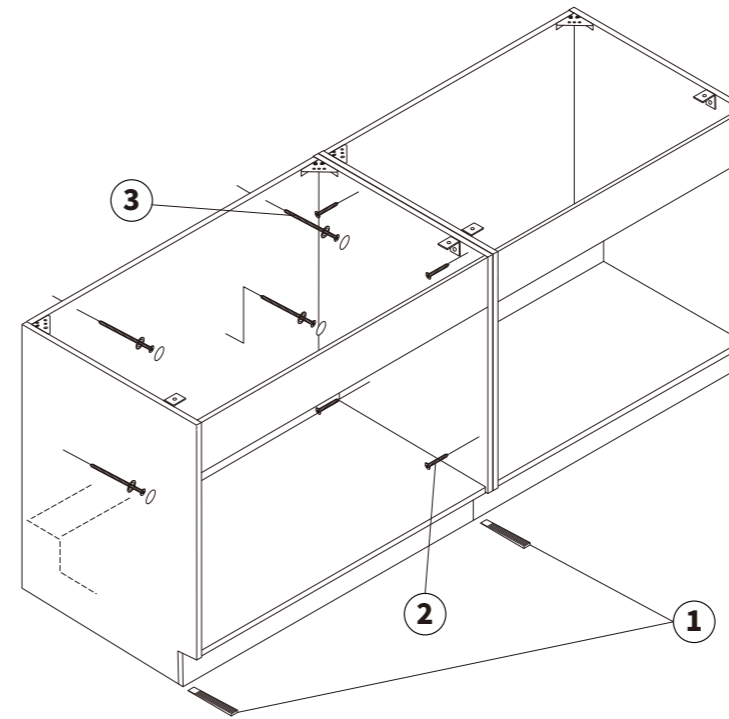
現場配管・配線位置に合わせて孔加工をしてください。



基本取り付け要領 (ベースキャビネットの取り付け前加工)

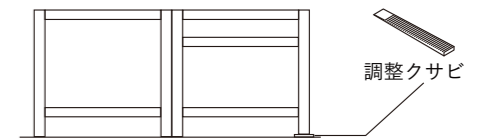
■ ベースキャビネットの取り付け

※ 施工前に、扉を外してください。(P.7 参照)



① レベル調整 **重要**

床に不陸がある場合は、キャビネット上面が水平になるように「調整クサビ (現地調達)」などして調整してください。



② キャビネット同士の連結

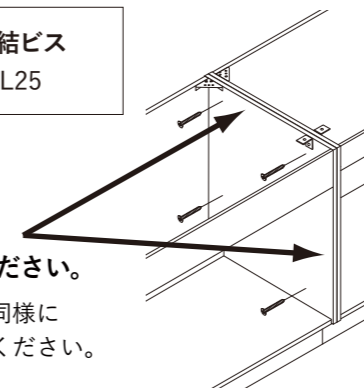
隣接するキャビネットは、前面・上面を面一に合わせて連結してください。

キャビネット側板のガイド錐で下孔をあけ、キャビネット連結ビスで固定してください。

キャビネット連結ビス
コーススレッドL25

側板前面と側板上面が揃うように調整してください。

※ 他のキャビネットも同様に各種ビスで固定してください。



③ 背壁への固定

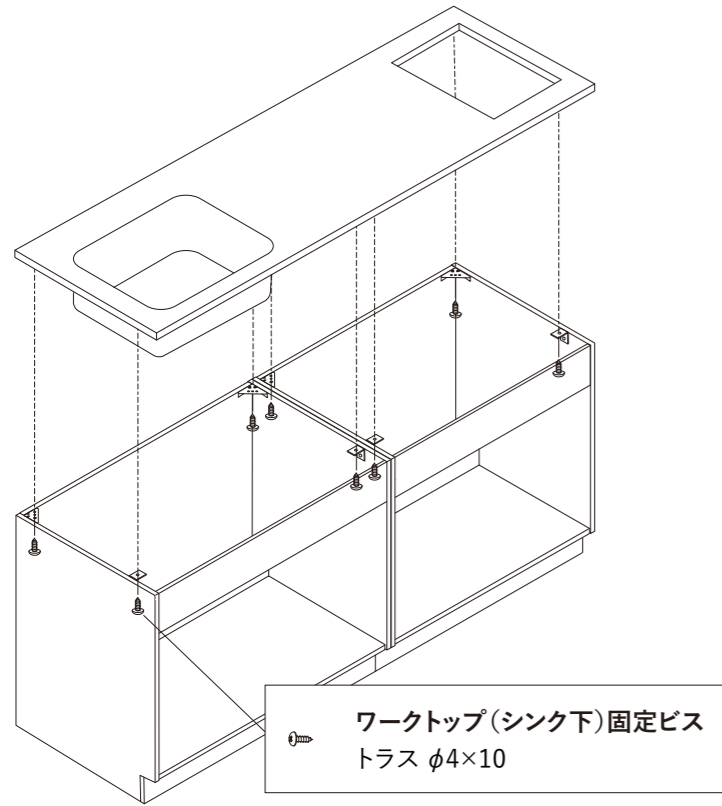
壁固定ネジで取り付けてください。
キャビネット側板のガイド錐で下孔をあけ、キャビネット連結ビスで固定してください。

壁固定用ビス
コーススレッドビスL51

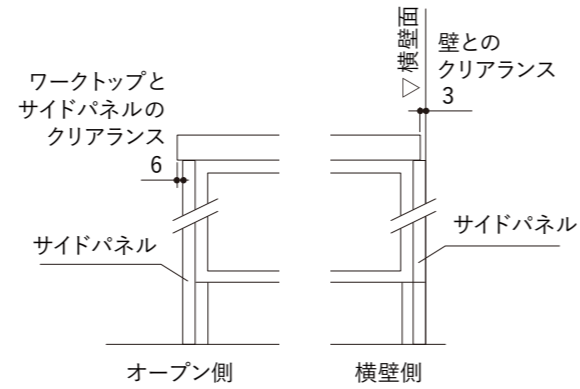
基本取り付け要領

■ ワークトップの取り付け

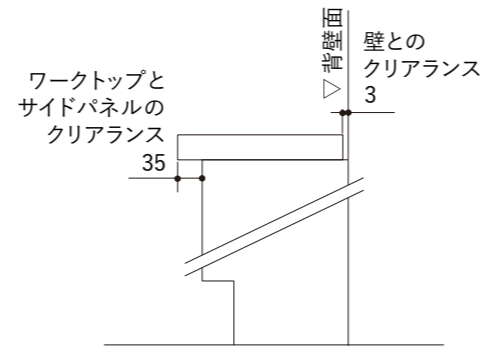
取り付け金具部分はワークトップ（シンク下）固定ビスで固定してください。



横壁とワークトップのクリアランス

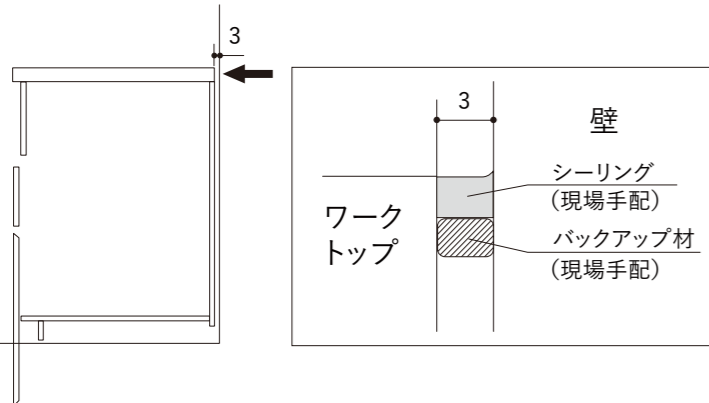


背壁とワークトップのクリアランス

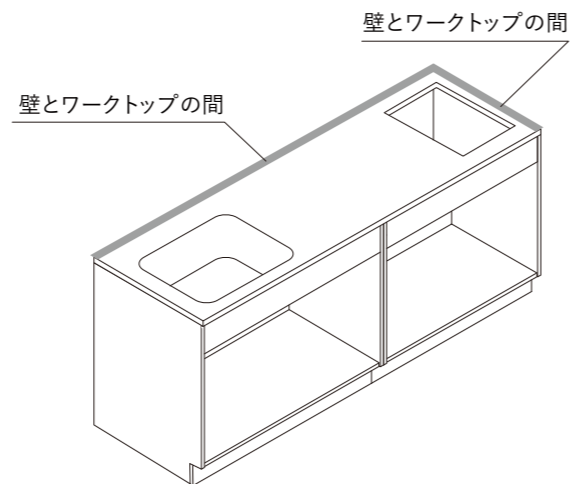


■ シーリング処理

シーリング材が沈まないように、シーリング施工前に必ずバックアップ材を入れてください。

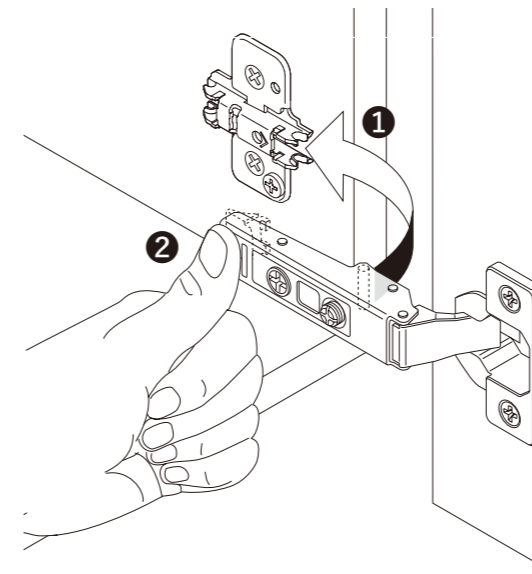


■ シーリング位置

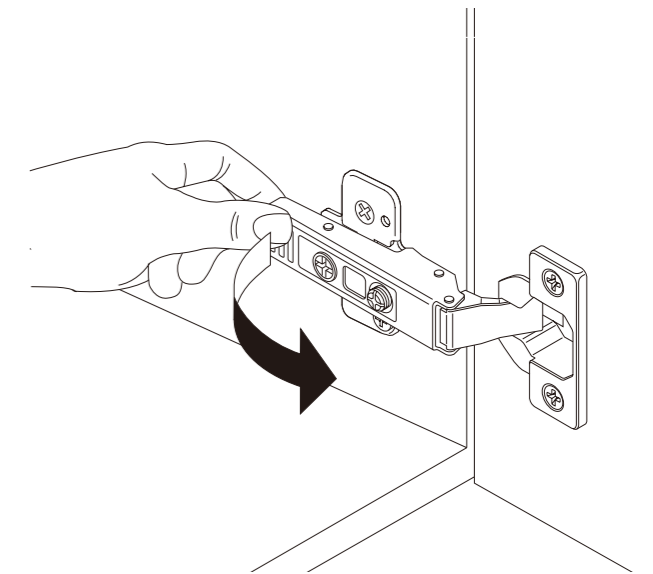


開き扉の取り付け・取り外し・調整

■ 扉の取り付け



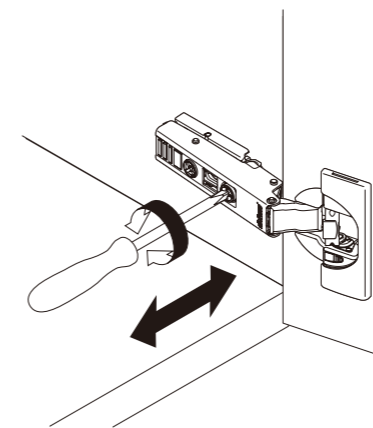
■ 扉の取り外し



■ 扉の調整

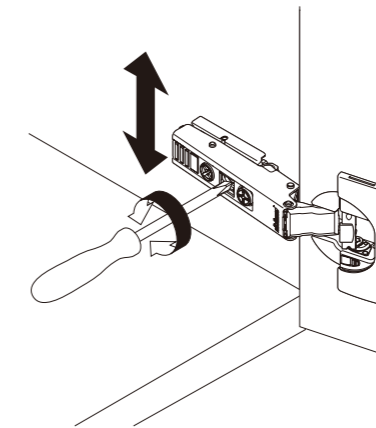
左右調整

左・右へ1mm

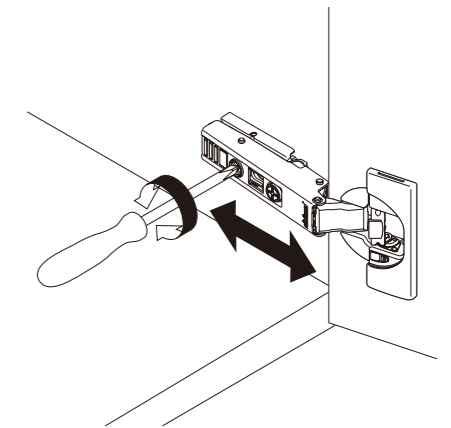


上下調整

±2mm



奥行調整






⚠ 注意 | 扉が正しく取り付けられていないと、扉が落下してケガをする恐れがあります。上記の注意事項を確認して、確実に取り付けてください。

⊘ 取り付け後、数回開閉を繰り返して、扉が正常に作動することを確認してください。

取り付け後の確認【清掃・点検】

■ **清掃** 取り付けが完了しましたら、清掃をおこなってください。


⚠ 注意

-  シンナー・ベンジン・中性洗剤以外の洗剤（酸性洗剤・アルカリ性洗剤・塩素系洗剤）・漂白剤は使用しないでください。
変色の原因になります。
-  洗剤・漂白剤・殺虫剤・防腐剤等の薬品を使用する際は、容器等に記載の注意事項に従いご使用ください。
使用方法を誤ると、変色・変形・劣化の原因になります。
-  ワークトップやシンク内に水道工事等で出た鉄粉・鉄くず・砂などが落ちている場合は、必ず水で洗い流してください。
付着した箇所がもらい錆の原因になります。

■ **点検（取付完了報告書）** 下記の表に従い、仕上がりの点検をしてください。

キャビネット	キズ・汚れ・残材がない。
	各キャビネット同士が連結されている。
	壁面と固定されている。
	ネジキャップの取り付け忘れがない。
	扉に傾き・ガタつきがない。
	扉が調整されている。
	ソフトクロージング機能が正常に作動する。
ワークトップ・シンク	キズ・汚れ・残材がない。
	ワークトップとキャビネットが連結されている。
	ワークトップが水平になっている。
	水漏れがない。
	トラップが取り付けられている。
シンクに水滴が残っていない。	
資料	取扱説明書がシンクキャビネットに収納されている。
養生	養生されている。
	製品の梱包材等を利用して、引き渡しまでキズがつかないように養生してください。

⚠ 注意

-  **試運転を実施してください。**
機器類（レンジフード・調理器・水栓・等、メーカーの取扱説明書がある商品）は、取扱説明書に基づき試運転し、正常に機能することを確認してください。